

<認知症対策について>をテーマに一般質問をしました。

●認知症は、誰にでも起こり得る脳の病気です。

『本市では、今後高齢者、特に後期高齢者が増加し、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯、認知症高齢者も、より一層増加することが予想されています。少子高齢化や財政の将来見通し、医療・介護を取り巻く人材の確保等から、「共助」「公助」の大幅な拡充を期待することは難しく、「自助」「互助」の果たす役割が大きくなることを意識した取組が必要となってきます。』

これは、「高槻市地域包括ケア計画」のファーストステップとして位置づけられた「高槻市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について、冒頭に記載されている文言です。



高槻市は、他市と比較して高齢化率が高い割には、介護保険料は府内で一番安く、市の様々な取組もあって、元気な高齢者の方が多く活躍されていますが、要介護等認定者のうち認知症高齢者の日常生活自立支援度Ⅱ以上の推計は増加傾向にあります。平成27年度8千人。平成37年度には約1.5倍の1万2千人強と予測されています。自分が若しくは家族の能力低下を認めたくないという自己保存の本能がある中で、認知症や誰もが年老いて行く事、誰もが支えあっていることを理解し学ぶことは、私たちにとって、と

ても大事なことだと考えます。誰もが住み慣れた地域で、自分らしく生活するために、様々な課題に対して、誰かではなくて私達一人一人が前向きに取り組む必要があるのではないのでしょうか。認知症対策を含めた地域包括ケアシステムの構築・地域づくりはこれからの喫緊の課題です。子ども達を含めた地域全体の公共性を育む環境づくり、地域づくりに取組む事、全庁的な取組と行政市民の協働について質問要望をしました。

27年度ダンノ恵美の役職

常任委員会：福祉企業委員（副委員長）
特別委員会：新名神・交通体系等対策特別委員（委員長）
議会だより編集委員会委員
高槻市国民健康保険運営協議会委員
高槻市社会福祉審議会委員（地域福祉部会）

後援会からのお知らせ

- ・毎月1回 活動報告会を開催します。詳しくは問合せください。
- ・第7回ダンノ恵美後援会歌謡まつり 平成28年8月13日 文化ホールにて開催。



ダンノ恵美事務所

〒569-0013 高槻市野田1丁目1-101

TEL / FAX 072-671-2134

MAIL info@takatsuki-daisuki.net

日々の活動

http://takatsuki-daisuki.net



活動報告

高槻市議会議員

ダンノ恵美

生まれ育った高槻が

ずっと住み続けたい「街」であるように



2016 新春号

平成27年度 一般質問

●認知症対策について

平成27年度 代表質問

- ①濱田市政2期目の市政運営について
- ②都市機能の充実に向けた取組について
- ③産業の振興に向けた取組、良好な環境の形成に向けた取組について
- ④子育て・教育について
- ⑤安全・安心の街づくりと地域力について

謹賀新年

新春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年も、ダンノ恵美に多大なご協力ならびにご支援をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。ダンノは、子育て中の母親の視点から、そして生活者としてのナマの声を議会に届けてまいりましたが、皆さまからいただいたお声やお手紙などを拝見するにつけ、様々なことを気付かせていただいた、充実した一年となりました。

やらなければならないこと、疑問点を明確にして改善への道筋をつけなければならないことなど、抱えている事柄は山積していますが、ダンノは本年も立ち止まることなく、新たな気持ちで、エネルギーに前進してまいる所存でございます。どうか変わらぬご支援、並びにご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



ダンノ恵美

代表質問しました（平成27年6月）

市議会本会議におきまして、ダンノ恵美は市民連合議員団を代表して、将来を見据えた街づくりによる高槻市の発展を期して5項目15点の質問をしました。改選後、初めての代表質問の内容を抜粋して紹介します。

① 濱田市政2期目の市政運営についての質問

② 都市機能の充実に向けた取組についての質問

・ JR高槻駅の新たなプラットフォーム整備と新西口改札の設置が進められています。プラットフォーム拡張後、特急サンダーバードや特急はるかの停車を求める声に対する展望と今後の取組について。

・ 高槻市が中核市になって12年。中核市の都市機能に相応しいシティホテルの存在、誘致の取組みに



ついて。

・ JR高槻駅南地区は、バリアフリー化工事、人口デッキ美装化工事によって綺麗になりましたが、部分的な改修にとどまっており、グリーンプラザ1号館2号館3号館を含め、昭和54年の再開発から36年が経ちます。JR高槻駅南地区と周辺地区の今後の街づくりについて。

③ 産業の振興に向けた取組、良好な環境の形成に向けた取組についての質問

・ 高槻市域の豊かな自然と緑は、高槻市民の貴重な財産であり、この保存や活用は喫緊の課題です。市内各地で里づくり、村づくりの取組に対する支援協力について。

・ 摂津峡周辺活性化プランの具体化に向けた取組について。

・ 高槻市の農業を守るため、農業後継者の育成が課題です。農協や実行組合と連携をしながら新規就農者の育成等の取組が必要であることについて。



④ 子育て・教育についての質問

・ 平成27年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートしています。本市の目標とする人間像と、本市の子供、また、子育て家庭を取り巻く課題の認識について。

・ 子ども・子育て支援新制度における公立教育保育施設の在り方について。

・ 幼児期の教育保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。自走福祉施設が措置制度から利用契約制度に変わり、利用者が様々なニーズに応じたサービスを選択するための支援がより一層必要とされていると

同時に、これら社会福祉施設の運営水準の維持向上を図ることは高槻市として大変重要な責任の一つです。これら社会福祉法人・施設に対する指導監査の目的、指導監督体制に関



する課題について。

・ 「地域と連携した特色ある学校づくり」の推進、「放課後子ども教室」の拡充について、子どもが抱える課題について地域ぐるみで解決を図り、家庭・地域の教育力向上に資するものとして、大きく期待をしています。将来、激しく変化する社会情勢に直面する子ども達の育成・教育・環境は大変重要であるが、この次代を担う子供たちの教育について、平成28年度から連携型小中一貫教育が全校実施され、施設一体型小中一貫校についての検討も進められます。「小中一貫教育・施設一体型小中一貫校」の目的について。

・ 文化財の保存と活用。高槻市に存在する貴重な歴史資産、国指定等の注目される史跡について。史跡阿武山古墳発見の経緯と現状、今後の取組について。

⑤ 安全・安心の街づくりと地域力についての質問

・ 新名神高速道路インターチェンジ供用開始を見据えた消防・救急体制及び、施設の整備について。近隣住民との協議調整について。

・ 平成25年度から始められている「三世代ファミリー一定住支援事業」は、市外に住んでいる子ども達に高槻市への転居を促す定住促進事業の一つです。この事業を通じて、日本人本来の支えあう家族・地域社会を取り戻すことについて。

・ 地域力・防災力について。地域活動を統括するのは、基本的に自治会、コミュニティ組織であると思いますが、今日、市内の組織加入率は

50%強といわれています。地区の福祉委員会や自主防災組織には加入する一方、自治会・コミュニティ組織には加入しないという現象も起きていますが、地域力・防災力を向上させるためには、福祉活動・コミュニティ活動、防災活動との連携・整合性が求められます。特に、「地域防災計画」を策定し、実効あるものにするためには、この整合性が特に必要です。コミュニティ組織のエリアに関する課題と、コミュニティ組織への加入率との関係についての考え。

